



# 消防大学校だより

## 救助科における教育訓練～理想の救助隊長像を求めて～

消防大学校では、救助業務に関する高度の知識及び能力を専門的に修得させるとともに、教育指導者としての資質を向上させることを目的として専科教育「救助科」の教育訓練を実施しています。令和5年度は第86期（4月19日から6月9日まで）49名の学生が、240時間の教育訓練を終え無事卒業しました。

救助科の講義では、今年度より、昨年度救助技術の高度化等検討会で作成された「救助人材育成ガイドライン・救助訓練指導マニュアル」をもとに、「理想の救助隊長像」をテーマにした課題研究の講義を取り入れました。それに付随し、CRM等の講義を導入しました。

実科訓練では、学生自らが企画・立案・調整・運営まで一連の流れを実践する「学生企画訓練」を実施しました。約1か月の準備期間の中で2日間に及ぶ各種訓練を学生主体で計画し、近県の教育支援隊だけでなく、東北地方や九州地方からも特別高度救助隊の教育支援隊を受けました。また支援教官（前期学生）を招き訓練を通し、企画・調整及び当日の運営全般に至るまでの評価をいただき、訓練指揮者としての企画運営力の向上に努めました。

実動訓練においては「現場指揮」と「安全管理」訓練を大きな2本柱とし、火災救助、山岳救助、震災救助等の一般的な救助事象から地域性のある救助事象に対する訓練をはじめ、各地域で発生している多数傷病者対応、大規模イベントにおいて発生が想定されるNBCテロ災害等の大規模災害対応など、多岐に渡る内容で訓練を実施し、現場指揮者として指揮・判断力や安全管理について実践的に習得してもらいました。さら校外研修で日本航空安全啓発センターを訪れ、改めて人の命の尊さを通じて、殉職事故を起こさないために、あらゆる手段を講じることを誓いました。



土砂災害救助Ⅱ

最終の課題研究発表では、約1ヶ月半研究した内容をマインド編、現場編、訓練編に分け、発表しました。講師や消防庁の担当者と意見交換を実施したことにより、「理想の救助隊長像」がより明確になりました。



課題研究Ⅱ（発表）

研修を終えた学生からは、「幹部・指揮者・指導者として、多くの気づきと学びがあり、非常に充実したカリキュラムであり、人として成長できた。そして全国から集結した熱い思いを持った仲間と出会えたことは、今後の消防人生において大きな財産になった。」「理想の救助隊長像として今の自分に何が足りないのか、何をすべきなのかが明確となりました。」「みんなとともに悩みや解決策を見出し、少しでも信頼されるリーダーに近づけた。」等、有益であったとの意見が数多く寄せられました。

今後は、消防大学校で得た気づきをさらに発展させ、素晴らしい人材を育成することで、殉職事故を発生させない組織を作り、一人でも多くの住民の生命・身体・財産を守る活躍を期待しております。

『～守・破・離～ 救助科第86期』



学生集合写真



学生全体写真



# 消防大学校だより

## 査察業務マネジメントコースにおける教育訓練

消防大学校では、消防本部の予防業務を主管とする係長以上の者に対し、違反処理をはじめとする査察業務全般をマネジメントするために必要な知識及び能力の習得を目的に、「査察業務マネジメントコース」を実施しています。

令和5年度は、5月25日(木)から5月31日(水)までの間実施し、48名の学生が受講しました。

講義では、消防庁予防課による予防行政の動向に関する講義をはじめ、先進的な取り組みを行う消防本部から講師を迎え、査察計画や進捗管理、違反是正体制の構築等についてご講義いただきました。

違反処理については、弁護士による法令解釈についての講義や、違反処理実績の豊富な消防本部及び違反是正体制の強化を図っている消防本部から講師をお招きし、その取り組みや体制強化の過程等についてご講義いただきました。



課題研究発表(聴講)

課題研究では、各消防本部が抱えている査察業務に関する問題等を持ち寄り、現在の社会情勢を踏まえた対応策等についての検討が行われました。発表は、4名の全国・都道府県違反是正支援アドバイザーを講評者に迎え、活発な意見交換が実施されました。受講者からは、「講義を始め、様々な所属の意見を聞くことができ、とても参考になった。」「講師の皆様の査察業務に対する熱い想いに感動しました。」といった意見が寄せられました。



課題研究発表(発表)

学生の多くから、「入校当初の目標を達成することができ、有益であった」との意見が寄せられたほか、同じ悩みや課題を持った仲間が全国から集い、短期間ではありましたが、様々な意見を交わすことができたことは、大変貴重な経験であったと考えます。



学生集合写真

今後は、本コースで得た知識やネットワークを、それぞれの所属での業務に活かしていただき、指導者として、地域の安心・安全のために活躍されることを期待しています。

### 問合せ先

消防大学校教務部  
TEL 0422-46-1712